CONCISE STATEMENT OF RELEVANCY BETWEEN THE INVENTION AND MATERIAL (JP-UM-A-57-65243)

This document shows a vibration absorbing mechanism provided between two members relatively displacing. An elastic insulator is interposed between an inside tube and an outside tube. The insulator is divided into three parts. The distances between a center part of the insulator and side parts of the insulator, and the distance between a stopper 7 and the outside tube 5' are adjusted so that the vibration absorbing mechanism can exert a predetermined characteristic between displacement and load.

◎ 公開実用新案公報 (Ⅲ)

12257—65243

(f)Int. CL² F 16 F 1/38 15/12 識別記号

庁内整理番号 6361-3 J 6581-3 J **砂公開** 昭和57年(1982) 4 月19日。

審查請求 未請求

(全 2 頁)

◎マウント緩衝装置

②実 願 昭55-141890

②出 願 昭55(1980)10月3日

⑩考 案 者 小林一孔

岡崎市橋目町字中新切1番地三 菱自動車工業株式会社乗用車技 術センター内

⑩考 案 者 柴田信男

岡崎市橋目町字中新切1番地三

匈実用新案登録請求の範囲

相対移動する2つの部材間に装備されるマウン ト緩衝機構であって、一方の上記部材に支持固定 された軸部材に嵌合され両側端が挟持された内筒 と、他方の上記部材に支持固定された外筒との間 に、円筒状の弾性インシュレータを上記両筒にそ れぞれ固着して介在させ、上記内筒の両側端部に それぞれ嵌装固定され、かつ上記軸部材と一体的 な部材に設けた受座にその外側面が着座する正面 形状楕円形の弾性ストッパに上記インシュレータ の両側端を漸増形の間隙Dを存して対向させた型 式のものにおいて、上記インシュレータは上記軸 部材の軸線であるX軸方向に直交するZ軸方向に 3つの部分に区分され上記軸部材が計画初度荷重 により上記外筒の略中心に位置するニューラル状 態にあるとき、上記内筒に固着の区分された中央 インシュレータと区分された隣接の各側方インシ ユレータとの Z軸方向の各主たる間隙A1、A2は 上記内筒に関して間隙Ai、Azとそれぞれ同側の 上記ストッパと上記外筒延在部とのZ軸方向の各 主たる間隙B₁, B₂に対してそれぞれ間隙差を有 してなり、該間隙差は上記ニュートラル状態にあ

菱自動車工業株式会社乗用車技 術センター内

@考 案 者 鈴木俊夫

岡崎市橋目町字中新切1番地三 菱自動車工業株式会社乗用車技 術センター内

⑪出 願 人 三菱自動車工業株式会社東京都港区芝5丁目33番8号

砂復代理人 弁理士 白井裕

る上記軸部材が新たな荷重により略 2 軸方向に沿って移動するとき、その間隙差が軸部材移動方向 側の中央インシュレータと側方インシュレータと の当接、および同方向側のストツバと外筒延在部 内周面との当接の中、何れか一方の当接を先行さ せるように設定されたことを特徴とするマウント 緩衝装置。

図面の簡単な説明

第1図aは従来の緩衝装置の縦断面図、第1図bは第1図aのI-I線に沿つた断面図、第2図ないし第6図は本考案の一実施例を示したもので、第2図は自由状態のマウント緩衝装置の縦断面図第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿つた断面図、第4図はニユートラル状態のマウント緩衝装置の縦断面図、第5図は第4図のV-V線に沿つた断面図および第6図は本考案と従来のものの2軸方向に関する特性比較図である。

2: 受座、3: 軸部材、4: インシュレータ、 4c: 中央インシュレータ、4z: 上側方インシュレータ、4o: 上側方インシュレータ、5: 外 筒、5^: 外筒延在部、6: 内部、7: ストツバ。

